

令和5年度 第5回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和6年3月21日(木) 16:00 ~ 17:40
会議方法 対面会議(オンライン併用(Google Meet))
出席者 (学外) 占部, 江崎, 中島, 林田, 平井, 松本, 吉岡の各委員
(学内) 中島, 河田, 原田, 山口, 小嶋, 藪田, 坂本, 武中の各委員
陪席者 田中監事, 山根副学長, 岡田副学長, 安延副学長, 川村副学長,
香川副学長, 岸本地域学部長, 坂口工学部長, 明石農学部長

議事要旨の承認

前回(令和6年1月24日開催, 令和5年度第4回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 令和6年度鳥取大学予算(案)

資料1に基づき, 令和6年度鳥取大学予算案における収入・支出内訳(大学分, 附属病院分及び外部資金関係分, 全学合計), 対前年度比増減額および要因について説明があり, 審議の結果承認した。

報 告

1. 令和4事業年度における余剰金の翌事業年度への繰越しに係る承認

資料2に基づき, 文部科学大臣に申請した令和4事業年度決算剰余金の翌事業年度への繰越しについて, 承認が得られた旨, 資料に基づき報告があった。

2. 令和5年度決算スケジュールについて

資料3に基づき, 令和5年度決算について, 会計監査法人からの意見表明時期及び文部科学省への提出期限について報告があった。

3. 令和6年度の役員等について

資料4に基づき, 令和6年度の役員等について報告があった。

討 議

1. 鳥取大学の魅力とその発信について

資料5に基づき, 鳥取大学における広報活動の主な取組みについて説明があり, 説明後, 各委員との意見交換が行われた。

— 学外委員からの主な発言 —

- ◇ 委員から，鳥取大学に地元の子供たちがより多く入学し，地元で就業することを目標とし，「知と実践の融合」の原点に立ち返り，地域の要請に耳を傾け，行政と協調しながら広報活動等を行っていただきたいとの発言があった。
- ◇ 委員から，鳥取大学が地域の学生・生徒に人気があった一つの要因は教員養成機能であった。もう一度看板をかけ直したり，その設定を変えるということがあっていいのではないか。もう一度議論の端を開いていただきたい。そのようなことのお手伝いをぜひ我々としてもさせていただきたいとの発言があった。
- ◇ 委員から，鳥取大学で各学部の理系と文系の力を合わせ，学際的な研究センター等をつくる等により，鳥取で課題となっている人口減少に対して，海外の情報も含めて対策を集約，実践し，逆に大学の魅力，強みに変えていくことを考えてみてはどうかとの発言があった。
- ◇ 委員から，広報は公聴が一体となっていなければ広報とは言えないのでステークホルダーの意見をさらに聞いていく努力が必要であること，生成 AI の時代で教育そのものの在り方が今までと変わっていく中，教育内容について相当考えていかなければならないとの発言があった。

その他

資料6に基づき，最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料7に基づき，令和6年度経営協議会の開催スケジュールについて説明があった。

会の最後に，今年度末で本会を退任する委員（2名）より退任の挨拶があった。